施策					検討事項
主要事業					
No.	個別事業	事業内容	取り組み予定	令和7年1月状況	
(1) 食と暮らしを支える多様な農業経営					
1 地産地消の推進					
①	直売所の周知と機能向上による利用促進	市HP等の活用と、情報発信強化。直売所の利便性向上等の検討	①直売所用のぼり旗及びめぐみちゃんをモチーフに作成したマグネットの配布 ②いこいの森公園、JAふれあい新鮮館での直売支援実施 ③めぐみちゃんメニュー事業の中で直売所マップの作成	①随時実施 ②JAふれあい新鮮館での支援、各月対応(4月、6月、8月、10月) ③直売所マップ作成 ④西東京市web内西東京市マップでの直売所情報の発信	1
②	公共施設等での販売機会の提供	公共施設での販売機会を提供し、市民の利便性や地産地消につなげる	①公共施設(スポーツセンター、きらっと)でのマルシェの開催広報を担当 ②下保谷屋敷林でのマルシェの実施	①7/23JCOMコール田無、7/30市役所田無庁舎、8/6柳沢公民館、8/20芝久保公民館にて即売会実施 ②下保谷四丁目特別緑地保全地区12/8実施	1
③	学校給食との連携	栄養士と農業者の意見交換などの支援	①学校栄養士と農業者との連絡会出席 ②市栄養士と連携し、めぐみちゃんメニュー事業等、市内産農産物活用メニューを提供	①令和7年1月20日「農産物生産者と小中学校栄養士の意見交換会」実施 ②市栄養士と連携し、めぐみちゃんメニュー事業等、市内産農産物活用メニューを給食で提供	1
2 安定した販路の確保					
④	事業者との連携支援	農業者と商工業者とのマッチングの支援。安定した販路の確保の検討	①めぐみちゃんメニュー事業で農業者と商工業者とのマッチングの強化	①めぐみちゃんメニュー事業で農業者と商工業者とのマッチングを再確認する ②商店街との連携(ひばりフェス実施にあたり、農産物の販売に希望があり、農業者を紹介、出店補助)	1
⑤	めぐみちゃんメニューの発信	めぐみちゃんメニューの発信とさらなる活用の検討	①市内産農産物を活用したメニューを小中学生より募集し、市内飲食店でメニュー化して期間限定販売 ②X(旧ツイッター)を利用した情報発信 ③農業者及び飲食店が自ら販売する形式でのマルシェ実施	①市内産農産物を活用したメニューを小中学生より募集(6月～7月)し、市内飲食店でメニュー化して期間限定販売(11/16～12/15) ②X(旧ツイッター)を利用した情報発信 ③7/23JCOMコール田無、7/30市役所田無庁舎、8/6柳沢公民館、8/20芝久保公民館にて即売会実施 農業者及び飲食店が自ら販売する形式でのマルシェ実施(12/8)	1
3 市内産農産物の品質・価値の向上					
⑥	めぐみちゃんブランドの価値づくり	「めぐみちゃん」の使用拡大の方策の検討。市内農産物の価値向上につながる支援の方策の検討	①めぐみちゃんメニュー事業を通じた広報 ②市内産農産物等活用推進事業費補助金の実施 ③めぐみちゃんのぼり旗及びめぐみちゃんをモチーフに作成したマグネットを配布 ④マルシェでのめぐみちゃんの活用	①めぐみちゃんメニュー事業を通じた広報実施 ②市内産農産物等活用推進事業費補助金の実施 ③めぐみちゃんのぼり旗及びめぐみちゃんをモチーフに作成した直売所に掲示するマグネットを配布(随時)	1—2
4 持続可能な農業経営の支援					
⑦	環境負荷を軽減する農業への支援	農業による環境への負荷軽減に取り組む農業者の支援	①安全安心農業推進事業補助金の実施 ②エコ認証制度についての周知 ③環境負荷軽減に取り組む農業者への新たな支援の検討	①安全安心農業推進事業補助金を実施 ②エコ認証制度についてHPにて周知 ③生物農薬利用者への補助金の実施	1—2
(2) 農地の保全と活用					
1 生産緑地の保全と次世代農業者の農地確保					
⑧	農地の適正な活用	農業委員会による農地の管理指導。農業者開設の市民農園、農業体験農園開設支援	①農地パトロール(農業委員会+都市計画課+資産税課)、文書による指導実施 ②農業委員会農地部会による農地パトロールの実施 ③苦情対応に農業委員と連携	①農地パトロールの実施10/23,24,25 ②農業委員会農地部会による農地パトロールの実施5/13 ③苦情対応の際、農業委員と連携	1
⑨	生産緑地地区制度への対応	特定生産緑地や生産緑地の再指定等の推進	①生産緑地の追加指定に際して、農業委員会が協力	①生産緑地の追加指定に際して、農業委員会が農地の確認等実施	1
⑩	農地の貸借の推進	貸借円滑化法に基づく貸借への仲介や相談体制を整える	①農業者の要望、情報の集約 ②JAや農業会議等関係機関との連携、他自治体の情報収集を行う ③都市農地有効活用連絡会の開催	①農業者や農地を借りたい人(法人)の要望等集約 ③4/22都市農地有効活用連絡会を開催し情報を共有	1
⑪	市民農園、農業体験農園開設の推進	農業者開設の市民農園、農業体験農園開設支援	①農業者開設の市民農園・農業体験農園開設の際の補助金対応 ②市民農園開設前の相談等対応(利用者の心得の作成相談含む) ③市報・HPで周知に努める	②市民農園開設前の相談等対応 ③市報・HPで周知	1

施策					検討事項
主要事業					
No.	個別事業	事業内容	取り組み予定	令和7年1月状況	
2 多面的機能の発揮					
⑫	災害協力農地の拡大	災害協力農地の拡大を図る	①未来に残す東京の農地プロジェクト補助金の事業実施者へ災害時協力農地としての協定締結を勧める ②JAと連携し情報を共有する	①未来に残す東京の農地プロジェクト補助金で防災兼用農業井戸を設置した農業者へ災害時協力農地としての協定締結を勧める ②災害時協力農地についてJAと情報共有	1
⑬	農地の景観創出・環境保全機能の確保	農地の価値、農地の保全に寄与する役割の理解促進。農地の適正な管理推進	①イベントを通し、農地の価値や役割について理解促進を促す取り組み実施 ②苦情対応に農業委員と連携	①10/19緑のアカデミー実施 ②苦情対応の際、農業委員と連携	1
3 環境保全に寄与する農地活用の検討					
⑭	環境負荷を軽減する農業への支援(再)	農業による環境への負荷軽減に取り組む農業者の支援	①安全安心農業推進事業補助金の実施 ②エコ認証制度についての周知 ③環境負荷軽減に取り組む農業者への新たな支援の検討	①安全安心農業推進事業補助金を実施 ②エコ認証制度についてHPにて周知 ③生物農薬利用者への補助金の実施	1—2
(3) 多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業経営					
1 若手農業者や女性農業者の育成					
⑮	後継者、新規就農者の育成	JAや東京都等と連携した後継者育成。地域での育成支援強化	①認定農業者の経営改善計画において、家族、後継者を含めた農業経営計画策定を推進	・認定農業者経営改善計画策定の際の支援 ・指導農士の推薦	2
⑯	農業者同士、農業者と周辺住民の交流機会の創出	若い担い手や女性農業者への情報提供の強化、支援策の検討	①農業委員会を通じ女性農業者への情報提供	①女性農業者への講習や研修案内を農業委員を通じて実施 女性農業委員研修会への参加	2
⑰	農地貸借の推進(再)	貸借円滑化法に基づく貸借への仲介や相談体制を整える	①農業者の要望、情報の集約 ②JAや農業会議等関係機関との連携、他自治体の情報収集を行う ③都市農地有効活用連絡会の開催	①農業者の要望、情報の集約実施 ②JAや農業会議等関係機関との連携、他自治体の情報収集を実施 ③都市農地有効活用連絡会を開催し、情報を共有	1
2 多様な農業者への支援検討					
⑱	認定農業者への支援	経営改善計画のフォローアップと各種支援の拡充の検討	①認定農業者(更新)へ改善計画書の作成支援 ②認定農業者経営改善支援補助金の対応	①認定農業者認定時(更新含む)作成の改善計画書の作成支援(予定) ②認定農業者経営改善支援補助金実施	1
⑲	新たな支援策の調査・研究	農業者への効果的な支援策検討	①(補助金)未来に残す東京の農地プロジェクト補助金、都市農業経営力強化補助金事業の手続きを継続実施 ②(補助金)JAや農業者との意見交換、要望の反映に向けた調整	①未来に残す東京の農地プロジェクト補助金の実施	1—2
⑳	営農支援事業の適正運営	JAの営農支援事業	①JAで行っている「営農支援事業」の周知	①営農支援が必要と思われる方へJAが実施している「営農支援事業」を周知	1
3 援農ボランティアの活用					
㉑	農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供	援農ボランティアと農業者のマッチングを行う	①体験実習農園にて援農ボランティア活動の実施。 ②市報掲載(援農ボランティアを広報周知) ③農業者へ援農ボランティアの活用の周知チラシを配付する。 ④援農活動の実施	①農のアカデミー体験実習農園にてボランティア区画にて実習実施 ②市報にて援農ボランティアの募集記事掲載 ③農業者へ援農ボランティア活用周知チラシを配布 ④農のアカデミー登録ボランティアとの援農活動実施、農業者とボランティアの援農マッチング実施	1
㉒	援農ボランティアのスキルアップ	援農ボランティアのスキルアップを図る	①農のアカデミー事業の実施 ②援農ボランティアを対象に講演会や運営連絡会を実施 ③市内農業者の圃場にてスキルアップのための実習を実施	①農のアカデミー事業実施 ②援農ボランティアを対象とした講演会や運営連絡会を実施予定 ③市内農業者(指導農業者)の圃場にて農のアカデミーボランティアへのアドバイスデー実施	1

施策					検討事項
主要事業					
No.	個別事業	事業内容	取り組み予定	令和7年1月状況	
(4) 農業を通じた交流					
1 農商工・産学公連携の推進					
②③	農業と異分野との連携促進	飲食や福祉・健康・教育、異分野と農業の連携推進	①農福連携事業の検討材料として、福祉関係団体等へのアンケート調査の実施 ②他分野との連携の検討	①8月市内福祉事業所へのアンケート実施 ②5/19武蔵野大学生(NPO団体MURP)と協働しフードフェスタ実施 商店街との連携(ひばりフェス実施にあたり、農産物の販売に希望があり、農業者を紹介、出店補助)	1—2
②④	市内学校等との交流・連携機会の創出	次世代の担い手となる子どもたちと農業が関わる機会の提供と、農業の魅力の普及啓発	①体験実習農園にて団体受入れ ②蔵の里事業の実施 ③出前講座等の実施	①種まき、生育観察、収穫体験 4月、5月、7月枝豆(保谷第一小学校、つくし幼稚園) 9月、10月、11月大根(栄小、こまどり保育園、ひがし保育園、すみよし保育園) ②1学期小学校に資料配布 2学期保谷小学校3年生、本町小学校3年生 3学期本町小学校(予定)	1
2 農業者と市民・子どもたちとの交流の創出					
②⑤	農業体験・交流の場としての農地活用と発展	農業・農地農産物に触れるきかいの創出	①親子で収穫祭の実施 ②出前講座の実施	①12/3親子で収穫祭実施 ②8/13谷戸公民館出前講座実施、 11/21向台小学校3年生出前講座 1/9東小学校5年生出前講座	1
②⑥	市民農園、農業体験農園開設の推進(再)	農業者開設の市民農園、農業体験農園開設支援	①農業者開設の市民農園・農業体験農園開設の際の補助金対応 ②市民農園開設前の相談等対応(利用者の心得の作成相談含む) ③市報・HPで周知に努める	②市民農園開設前の相談等対応 ③市報・HPで周知	1
3 農業・農産物への理解促進					
②⑦	市内産農産物、農の魅力情報発信、PR	市内産農産物の情報発信と農業農地の情報発信を行う	①市内産農産物の販売の際のファームカーでのPR活動	①いこいの森ファーマーズマーケットでのPR活動 JA東京みらい新鮮館でのPR活動実施	1
②⑧	農業体験・交流の場としての農地活用と発展(再)	農業・農地農産物に触れるきかいの創出	①親子で収穫祭の実施 ②出前授業の対応	①11/3親子で収穫祭実施 ②8/13谷戸公民館出前講座実施、 11/21向台小学校3年生出前講座 1/9東小学校5年生出前講座	1
4 庁内連携の推進					
②⑨	庁内各分野と連携した取り組みの推進	庁内の各部署が連携し、分野を横断し農業振興を図る	①他課と連携したイベントの実施	①みどり公園課 下保谷4丁目特緑イベントとの連携 ②環境保全課の環境チャレンジと連携	1